

## 1 「NTT Communications Digital Forum 2020」 概要

With／After コロナのDXをリードする  
「NTT Com」をアピール

NTTコミュニケーションズ（以下、NTT Com）は新型コロナウイルス感染拡大を受け、毎年10月に開催している「NTT Communications Forum」を初めてオンラインで開催した。名称に「Digital」を入れ「NTT Communications Digital Forum 2020」（以下、CDF）とするなど、自らデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）を体現する事業者としてのNTT Comをアピールする場となった。

インターネット上の仮想空間で  
開催

CDFは2020年10月14日（水）～16日（金）の3日間にわたり、インターネット上の仮想空間で開催された。プログラムは例年と同様に講演と展示。訴求内容は、NTTグループとして注力するSmart WorldのうちNTT Comが注力する7領域の取り組み、また近年特に力を入れているデータ活用のためのプラットフォーム“Smart Data Platform”、長年にわたり強みとしているバックボーンネットワーク／とう道／海底ケーブルそしてデータセンターなどのインフラ、さらにDX／イノベーションであった。NTT Comの事業ビジョンが窺える主な内容について本特集で紹介する。

集客を強化し、  
DXソリューションをアピール

新型コロナで変容する社会に合わせたNTT ComのDXソリューションやサービスを知ってもらうこと、そして、商談機会の創出につなげることを目的とした。その中では、働

き方改革に代表されるNTT Com自身が取り組んだDXの情報が積極的に発信され、そのノウハウを今後のお客さまとの共創やサービス開発などに活かしていく考えも示された。

例年同様に顧客企業のCxOクラス、意思決定層を中心に招待したほか、LOB（Line Of Business）層のキーマン、すなわち事業責任者や、学生の集客にも力を入れた。LOB層と学生の集客強化を目的に、ソーシャル経済メディア“News Picks”を通じてアピールするなど、デジタルマーケティングにも力を入れている。

いつでも自由に見て回ることが  
可能な講演と展示

CDFの会場である仮想空間にログインすると3Dの空中都市で表現したポータルが表示され、アバターを操作して講演や展示を自由に見て回れる仕組みとした（本特集“7バーチャルイベントプラットフォーム”参照）。

丸岡社長による基調講演、各分野を管轄する組織長やお客さまによる特別講演、Smart World各領域の推進室長やNTT Comエバンジェリスト

によるDXセミナーなど、計71の講演は事前に収録し、オンデマンド配信によりいつでも視聴可能にした。

展示には説明動画、ダウンロード可能な資料、“COTOHA Chat & FAQ®”を活用したAIチャットボットや説明員との有人チャット、Microsoft Teamsのビデオ通話を用意した。展示数は計95であった。

## 来場者数は例年の2倍以上に

前述のように集客を強化したほか、会期中は24時間いつでも講演の視聴と展示の閲覧を可能にしたこともあり、従来のオフラインで開催していたNTT Communications Forumと比較し来場者数を倍増させるという目標を達成している。

## CDFの内容は今後も閲覧可能

CDFのコンテンツは講演、展示ともに会期後もすべて“Digital Showcase”として公開されており、チャットボットによる自動応答も含め24時間利用することが可能となっている。